

ヒ カワ チョウ 氷川町

総人口…10,451人 男…4,766人 女…5,685人 世帯数…3,887世帯
(人口構成比) 15歳未満…10.2% 15～64歳…48.2% 65歳以上…41.6%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



藤本 一臣 町長

氷川町は、総面積33.3平方km、熊本県のほぼ中央に位置し、広い平野と海、山があり、農産物が豊富です。スマートICやJR線等の交通アクセスも良好です。

これからも「小さなまちで、大きな幸せを感じる『田園都市・氷川』」を掲げ、広域交通の利便性や医療・教育などの多様な機能を備えたコンパクトなまちをイメージし、住民の皆さまが安心して暮らすことができ、幸せを実感できる持続可能な氷川町を目指します。



- 寄附御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上)
 - ・感謝状贈呈(寄附額10万円以上)
 - ・地公体広報誌掲載
 - ・HP掲載
 - ・視察受入
 - ・功労者表彰推薦
 - ・紺綬褒章推薦
 - ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー2 過疎対策・定住移住

空き家の有効活用

本町では、空き家の有効活用と定住促進による地域活性化のため空き家バンク事業を実施しており、他の自治体と比較して手厚い補助もあって年間10件を超える登録をいただいておりますが、空き家の数は依然として多い状況です。



学生による空き家調査の様子



カテゴリー1 産業振興・企業誘致

道の駅電北活性化

本町の基幹産業である農業は、高齢化の波を受け深刻な担い手不足となっています。また、近年の物価高騰の影響で、農業者の経営はより厳しさを増しています。

道の駅電北では、特産品や加工品等の販売のほか、地域農業の魅力発信や農産物のPRを行っています。近年の農業における多くの課題解決のため、本町の農業振興の拠点である道の駅電北の活用及び活性化は必要不可欠です。



道の駅電北

氷川町まち・ひと・しごと創生推進計画

本計画における4つの基本目標

基本目標1 地域経済の礎となる地域産業が興隆し魅力ある雇用があるまち

地域産業を強化するため、多様な就労環境の整備や農業の6次産業化による新たな雇用の創出、異業種間連携による地域の人材育成に取り組みます。

基本目標2 結婚～子育ての場として選ばれるまち

子どもを産み育てやすい環境づくり、仕事と子育てを両立しやすい環境づくり、地域が一体となって子育てを見守り応援する環境づくりに取り組みます。

基本目標3 地域の宝を活かした町内外の交流が盛んなまち

地域資源を活かした催しやツーリズム事業の活性化、町の魅力発信や地域と連携した良好な生活環境の創出により、関係人口拡大と移住定住を促進します。

基本目標4 誰もがぐらしやすく心豊かに過ごせるまち

住宅需要に対する受け皿づくりや高齢者等への生活サポート、町民の健康づくり、地域防災の強化に取り組み、町民の安全・安心な暮らしを支えます。

氷川町

重点プロジェクト

魅力と活力ある産業の振興

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費 — 寄附目標額 —
- 数値目標
- 物産館売上実績額…………… 2.6億円
 - 新商品(特産品)販売実績額 …… 83万円

本町の基幹産業は農業となっており、吉野梨や晩白柚、和鹿島いちごなどの特産品があります。しかし、高齢化・人口減少が農業の維持に影響を与えており、今後の存続・発展には担い手確保が課題となっています。担い手確保のためには所得の向上・安定が必要であり、1次産業の高度化、農業の法人化、輸出に特化した販路の確保などの推進が重要となることから、特産品の海外への販路拡大、地域資源を活用した加工品開発など6次産業化を推進し、需要増加による生産規模の拡大や農業所得の向上、新規就農者の増加を図ります。



いろいろな農作物がとれる肥沃な農地

寄附の具体的なメリット

本町が抱える課題の解決に向けた取組みに企業がお持ちの知見を活かすことで、産業振興による地域の活性化や里山の環境保護に貢献いただくことができます。

寄附申出書の事業名選択時は「地域産業の興隆」を選択してください。

重点プロジェクト

安全で快適な生活環境の整備

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費 — 寄附目標額 —
- 数値目標
- 20～49歳の転出超過数…………… 3人
 - 移住相談件数…………… 12件

本町は国道3号やJR、九州自動車道の宇城氷川スマートインターチェンジなど広域交通の利便性があり、コンパクトでありながら多様な機能を備えたまちづくりを行っていますが、町内に高等教育機関がなく就職先も少ないため10代後半から20代前半にかけての転出が大きくなっています。

活気があり安定し存続するまちを目指し、若い単身者、子育て世代が住み続けたいと思う住環境の整備や地域と連携した子育て環境の充実、豊かな自然や歴史の中で培われた地域の魅力を活かした質の高い学習環境づくりに取り組みます。



宇城氷川スマートインターチェンジ

寄附の具体的なメリット

子育ての場として選ばれる町、誰もがぐらしやすく心豊かに過ごせる町を目指し取組みを進めています。企業には、小さな町ならではのまちづくりに幅広い分野で貢献いただくことができます。

寄附申出書の事業名選択時は「安全で快適な生活環境の整備」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。